

広 報

# あいかわ

No. 374

'89/ 7

■編集 秋田県合川町役場総務課 ☎0186 (7) 2100



## 今月の紙面

- |        |                             |
|--------|-----------------------------|
| 2-4面   | 6月定例町議会                     |
| 5-7面   | できごといろいろ                    |
| 8-9面   | 合川中学校全校植樹                   |
| 10-15面 | 特集-旧海軍大野台 予科練<br>習生44年ぶりの来町 |
| 16-18面 | お知らせ                        |

金田憲司さん(摩当)

六月二十四日は、ここ鎌沢大仏様のお祭りでした。県の文化財に指定を働きかけて、観光ルートにすることはできないものでしょうか。  
関の沢公園を整備すると、森吉山スキー場や、マトビと組み合せて、当町で民泊を受け入れることができると思います。

私のふるさと  
十景

町議会六月定例会は、六月二十日から五日間、開かれました。冒頭で行われた畠山町長の行政報告と可決（承認）された議案から、編集して掲載します。

六月定例  
町議会

## ふるさと創生事業で学童研修センター

### 中学校改築の基金を設定

#### 63年度決算は

#### 一億三千九百万 円の黒字

昭和六十三年年度決算は、一般会計で一億三千九百万円の黒字になる見込みで、昭和六十三年度からの繰越明許費分二千二百万円を差引くと、純繰越金が一億千七百万円になります。厳しい地方財政の中で、歳入の確保、歳出の経常経費の節減等により、健全財政を確保できたものと思います。

国保会計は、七千九百万円、診療所会計は三千六百万円の黒字決算を見込み。国保会計では、当初三千七百万円の赤字予想で予算を編成しました

が、歳入では国庫補助金の確保を図り、歳出では外来、歯科、調剤の診療報酬伸び率の鈍化等が要因で、単年度三千六百万円の黒字になりました。

#### 学童研修センター

#### 青少年に

#### 感動体験を

自ら考え自ら行なうふるさと創生事業は、本年三月、町内各層から四〇人の委員を委嘱して「ふるさと創生事業推進委員会」を設置。これまでに三回にわたり、地域づくり事業の検討協議を進めてきました。その間、議会全員協議会等でもご協議をお願いし、その結果、二十一世紀の主役となる現代の少年に集団生活、

感動体験が重要であり、その拠点となる宿泊施設の整備が必要との委員会の合意を得ました。平成元年度に交付される八千万円では、三木田関の沢公園附近に「学童研修センター」を建設することに決定しました。

#### リゾート計画

#### 大野台に

#### 都市公園の構想

総合保養地域整備法に基づく「八幡平・阿仁・田沢湖地域大規模リゾート整備基本構想」は、本年三月三十日全国九番目の地域として国で承認。

その対象地域は鹿角市・田沢湖町・西木村・阿仁町・森吉町・合川町の一市四町村で

面積十七万七千五百おとなっています。

この内、九カ所を重点整備地区に設定。当町では、大野台地区二千二百七十おが、「北



▶大野台農免道路沿（鷹巣町）に建設進む広域ゴミ処理施設



欧の杜公園ゾーン」に構想され、今年度、県が基本調査を実施することになっています。

当面、大野台中心部に公共投資で公園整備をはかり、民間企業の誘発を進めていく方針で、都市計画事業による都市公園整備が考えられています。

今後都市計画決定を含め、地元としての受け入れ体制確立のための「リゾート推進協議会」を設置する予定です。共同福祉施設に伴う森吉警察署合川警察官駐在所の移転地は、中央駐車場南側に予定して協議。駐在所並びに複数の官舎が併設されることになりました。その用地面積は八百四十三・六平方メートルで、町駐車場との関連を考慮して、建設用

地に係わる整地を町が実施。七月中に建築着工の予定です。

広域ゴミ焼却施設は、昨年七月、ユニチカ株式会社と工事契約。五月末の工事進捗率は二四%となっています。

今年度発注する粗大ゴミ処理施設は、最低見積書を提出したユニチカ株式会社と仮契約を結ぶことに決定しました。この施設は、炉の耐用年数に合わせた建物とし、最少限の

投資額に抑え、県内では初めての、ロボットを導入したゴミ集積機を組み入れ、人件費の将来的軽減が図られています。

し尿汲取料金の値上げ陳情の対処につきましては、鷹巣町他六カ町村組合において、関係町村の組合議員の代表による検討委員会を構成。検討中であり、その結論を得て対応していきたいと思っています。

います。

大野台地区国営総合農地開発事業は、国の施策方針が、従前の未墾地重視の開発から、既墾地に水田を加えて整備する国営農地再編パイロット事業に制度化されました。

三町では、新制度に移行して調査を継続。大野台に計画されている開発事業や、地域の活性化との関連を踏まえた中で、関係機関、農家の意向をまとめて、年内に事業の制度を含めて、開発の方向を決めることにしています。

このため、重点地域をしぼり、作目導入、営農方式等を具体的に検討するため、関係集落や受益者との協議を近く

### 縫製業者に

## 融資制度を新設

町内の縫製業は、現在十一社、十六工場で雇用者四百九十九人となっており、そのほとんどが合川町の住民です。若年労働力の確保や近代化設備の導入等について、行政的配慮を要望されていました。

合川町縫製工場機械設備資

金融資産幹旋制度は財団法人

秋田県中小企業振興公社の一般設備割賦制度に基づいて、一企業五百万円を限度に融資幹旋と利子補給を実施。

企業者負担の利率は年二%とし、残りを町で助成。町内縫製業がこの制度を活用し、より充実、発展することを期待しています。

秋田県は、県北空港の建設地を鷹巣町中屋敷地内と決定し、平成三年度からスタートする国の第六次空港整備五カ年計画への組み入れを目指すことになりました。

空港の設置条件のなかに、空港の利用があげられていますが、空港の需用を確保するためには空港と地域を結ぶアクセス道路の整備が急務です。近隣町村と連携を取りながら、その実現に向けて働きかけたいと考えています。

当初予算に計上している第一種公営住宅五戸は、三木田字関の沢に建設予定でした。しかし、県道鷹巣・川井・堂川線の三木田バイパス工事が国の予算配分で、平成元年度中の供用開始が不可能のため、今年度は松ヶ丘団地の町有地

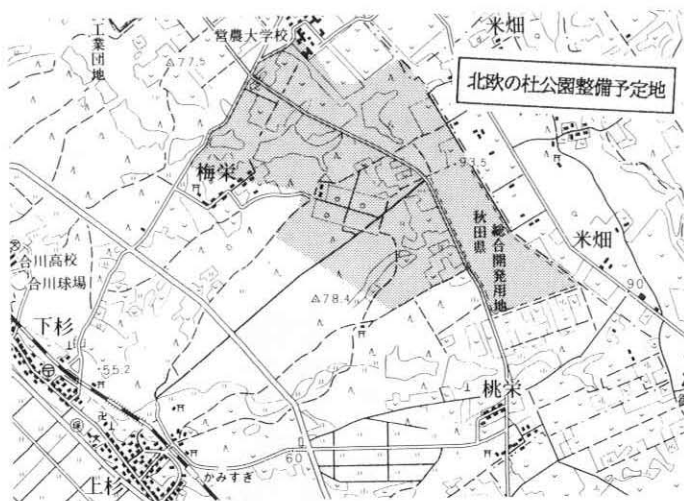
に建設したいと考えています。

中学校の校舎は昭和三十六、三十七年の建築で、だいぶ老朽化しています。全面的な改築は容易でなく、教室・管理棟の建築を予定。一般財源で二億四位の財源を確保したいと思っています。

平成四年度着工に向けて、計画的に基金を積立てて行きたいと考え、今定例会に三千万円を計上しています。

今年、秋田県太鼓フェスティバル(第三回)を当町で開催したく、話し合いを進めてきました。平成二年第四回太鼓フェスティバルが当町で開催されることに内定しました。

今年度は一般愛好者、小中学生、芸能保存団体等の初心者を対象に講習会を開催。日本太鼓を中心とする伝統音楽の保存、伝統を目指すとともに新しい音楽活動を振興し、香り高い文化の向上と指導者の育成を図ることにしています。(次ページに続く)



旧予科練生訓練跡地に

## 平和祈念碑を

昭和二十年の終戦直前、旧上大野小学校を宿舎に、旧海軍甲種飛行予科練習生、数百人が秋田基地としての大野台で連日訓練を行っていました。

最近、全国各地から当時の秋田基地を訪ねてみたいとの問い合わせが多くなっているところ、当時の土浦海軍航空隊第十一分隊同期生三十数人が、六月二十四・二十五日の両日、本町を訪れます。

青春時代の予科練生にとって、秋田時代は、第二の故郷として強烈に心に刻みこまれているようで、今回の来

町を心から歓迎しています。

この機会を通じ、全国各地の旧予科練生に、広く呼びかけ、訓練跡地に恒久の平和と青少年の健やかな成長を祈って、祈念碑を建立したいものと考えています。

## 可決された議案

### 町税条例を改正 五百万円の減税

#### ◎町税条例の改正

地方税法の改正に伴い、関連のある町税条例の一部を改正する町長の専決処分が承認されました。主な内容は

▽消費税の導入により、電気税・ガス税、木材引取税が

廃止された

▽町たばこ消費税が町たばこ税となり、税率が変更された。

▽町民税の所得割の税率が改正された。所得区分が前の七段階から左の三段階に改正された。

|                 |       |
|-----------------|-------|
| 百二十万円以下<br>の金額  | 百分の三  |
| 百二十万円を超<br>える金額 | 百分の八  |
| 五百万円を超え<br>る金額  | 百分の十一 |

当町では平均〇・二%、総額五百円程度の町民税が減税になるものと見られている。

▽個人町民税の非課税の対象範囲が広がられた

▽株式の譲渡所得に対する課税制度が新設された

◎国民健康保険税条例の改正  
国民健康保険税の最高限度額を、四十万円から四十二万円に引き上げ。四割軽減世帯の対象範囲(所得限度)を二十一万円から二十一万五千元に上げました。地方税法の改正などに伴い保険税の算出方法が、一部改正されました。

◎町過疎地域振興計画の変更  
町の過疎計画(昭和六十年

度(平成元年度)に事業を追加する計画の一部変更を承認

◎固定資産評価審査委員会委員の選任  
松橋義雄氏(道城)が再任

されました。

◎平成元年度補正予算

一般会計で二億五千五百八十一万八千円を追加。追加された主な内容は▽水田農業確立対策推進事業費補助(町農協・レトルト釜増設)二千五百二十二万四千円

▽予科練演習跡祈念碑建立補助金百万円  
▽学童研修センター建設一億百五十六万七千円  
▽中学校整備基金積立三千万円  
▽災害復旧費 六千八百八十六万六千円  
▽県北空港アクセス道路調査費 二十万

円

◎工事請負契約の締結

川井大野線、中学校線、大野台東線の三道路の工事請負契約締結が承認されました。

# 大切にしておね あなたの一票

参議院議員選挙

投票日は7月23日です

投票所入場券は世帯別に郵送しますので、中を確認ください。選挙権があると入場券が無くても投票できますが、届かない場合や無くした場合はすぐに連絡ください。

合川町選挙管理委員会

(役場内) 〇七八一二〇〇

大声援うけて  
全力で

小学校陸上記録会

五月二十三日、中学校グラ  
ンドで町内小学校記録会が開  
かれました。

四小学校の四年生以上全員が参加して校内大会では味わえない競い合い。

記録会は父兄の応援の輪も、年々広がって、町内の一大競技大会として盛り上がり。残念ながら、今年は新記録は出ませんでした。が、体力の限り

初夏の味覚  
ジュンサイ採り始まる

県道わきの金沢堤で

大野台に夏の訪れを告げるジュンサイ採りが始まりました。



金沢地内の県道ぞいの堤では、小船の上から水中のジュンサイを採取。この堤のジュンサイは、高品質のものが多くということで喜ばれています。今年は、例年より半月ほど早く収穫が始まりました。

ゴール前のデットヒート。  
(四年女子六百メートル)



がんばる選手たちに大きな拍手が送られていました。

“あの日”から六年

5月26日県民防災の日

昭和五十八年五月の日本海中部地震から、まる六年。この日は県内各地で訓練が行われました。町内では、通信訓練や避難訓練が行われました。津波で十三人の命を奪われた合川南小学校ではこの日、午前十一時三十分、非常ベルで地震発生の合図。全校生は机の下にかくれて安全を確認してから、校庭に避難集合しました。

このあと、殉難慰霊碑の前に全校生徒が整列して、児童代表が献花。追悼の言葉と黙とうをささげました。



おめでとう合川高  
庭球・フェンシングチーム

## 高校総体で優勝

六月二日から開かれた第三十五回全県高校総合体育大会、合川高校はフェンシング・庭球の二種目で優勝しました。フェンシングは団体戦で女子が二年連続優勝。男子は団体戦準優勝。個人種目で土佐信直選手と成田隆志（李岱・政治家長男）選手が優勝しました。

軟式庭球も団体戦は女子が優勝、男子は準優勝。個人戦で伊藤昭博選手・牧野和行選手チーム、藤島恵里子（駅前宏・長女）選手・関博子（下杉・正美二女）選手チームがともに優勝しました。

ホームラン三本  
プロ野球に大歓声

## 合川球場でイースタン戦

五月二十七日、合川球場でプロ野球イースタンリーグ「ロッテ―巨人」戦が行われました。

同球場でのプロ野球は八年ぶり。一軍でも活躍した呂選手など、一流選手のプレーを見ようと、練習時から、多く



の観客が集まりました。

シートノックや、投球練習などでも、「さすがプロ」という場面には、大きな拍手。試合は逆転・同点と一点を争う展開で、ホームランも三本。内野席がほぼ満席になるほどにつめかけた野球ファンを喜ばせてくれました。

駅前1-△初優勝

## 町ゲートボール大会

六月八日、町多目的グラウンド（松ヶ丘）で、第九回町ゲートボール大会が開かれた。

一つのプレーが勝敗を分ける接戦の連続に大歓声。  
結果は次のとおりです。

▽準決勝 駒前 A 16 — 11 増沢 A  
上杉 A 11 — 6 八幡平 A

▽決勝

駅前A  
10  
|  
9  
上杉A

## 若さいっぱいはつらつ長生き

町ことぶき大学運動会

町ことぶき大学の第十三回スポーツとレクリエーションの集いが、六月十三日、中学校グラウンドで開かれました。二百人を超える選手団が、



「まだまだ、長生きします」と、元気に町民歌で体操。

はつらつと入場行進。成田ツサ選手（駅前）が「老人パワーを思う存分、発揮します」と選手宣誓して競技に入りました。

「にこにこボールリレー」「火の用心競争」「おめでとろゴールイン」など、笑顔いっぱい、の四地区対抗戦。熱戦が続きました。

## 新鮮な初夏の味 詰め込んで

町ふるさと便を発送

合川町ふるさと会々員三百二十六人の皆さんに、六月十三・十五日の両日にわたって「夏のふるさと便」を発送しました。

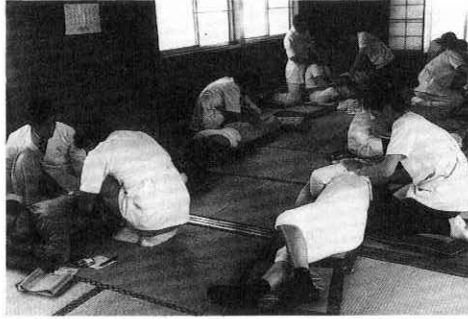
今回は竹の子・ミズ・干し餅・ふきそばなどを冷蔵宅急便で発送。いっしょに、秋田内陸線ガイドと調理法などのたよりもお届けしました。

ふるさと会は年会費一万円。会員には、この秋、第二便をお送りします。

まごころ詰め込んで大忙し。（大野台ハイランドハウスで）



「ああ気持ちいい」と感謝のことは



## 盲学校の皆さん 今年もありがとう

ごさいます

六月十三日から四日間、秋田県立盲学校の皆さんが来町

され、ことぶき荘で施術奉仕が行われました。

毎年、この時期に行われるはり・あんまの施術奉仕は、町の人たちに、すっかり定着。今年も延べ二百人を超える利用者があり、大変感謝されています。

施術奉仕とともに、腰痛防止のためのアドバイスなどもあり、町民の健康管理にも役立っている様子でした。

## 町長日記から

上小阿仁村の杉風荘（特別養護老人ホーム）に川井の佐藤タキさんが入所しているはずだと、六月十九日、上小阿仁村に平成二年度に出来ることになった東京都の精養軒の現地調査があった。都庁の課長一行が来訪した際、同席していた村の課長が前の杉風荘の所長だったので、近況を伺ったら、元気で職員の手伝いをした

りしているとのこと。両眼失明の人だったが、たまたま入所当時、私が杉風荘を訪問した際、一度、眼科の専門医に診てもらって、駄目だったらあきらめるからと話があったので、私がかかっている能代の工藤眼科医を紹介し、町の職員に送迎させた。手術の結果、片眼が開眼した朗報があった。その後すっかり忘れていたので、私は同席の人に、何か果物でも届けてもらいたいと、頼んできた。

（義）

## 夏休み



水の事故を防ぎましょう

## 県北空港

## 早期実現めざし

中央駐車場に大看板

町では中央駐車場に県北空港の早期実現をめざして大看板を設置しました。

看板は幅五、四メートル、高さ二、五メートル。地域の発展を願うみんなの期待がこめられています。標語は十八市町村の共通標語に入選した桜田楨子さん（東根田）の作品です。

# 県北の大地にはばたけ夢の翼 大野台空港早期実現

合川町



めざせ世界一

フエンシングって

楽しいな！

チビッ子教室を開く

六月七日、第一回チビッ子フエンシング教室が開かれました。

フエンシングは合川高校が毎年のように、全国大会で活躍し、同校出身の森川明美選手がオリンピックに出場。今年の世界選手権（アメリカ）に出場します。

チビッ子教室は、町フエンシング協会で開催。今回は駅前親と子の会の協力で開き

## 平和観音像前で

## 町戦没者追悼式

百六十人が新たな祈り

六月十一日、町の戦没者追悼式が行われました。今年は大野台ハイランドの平和観音像前広場が整備され、遺族ら百六十人が参加。消えぬ悲しみを新たにしていたました。

観音像に花をささげ、永遠の平和を誓い合う……。



ブザーが鳴り、剣がしなうて楽しい練習風景



ました。

チビッ子たちは「三銃士」のような剣さばきに大喜び。さっそく、高校生を相手に胸を借りていました。

## あなたも太鼓を たたいてみませんか

日本太鼓講習会  
大野台ハイランドで



と き 7月8日(土)9日(日)  
と ころ 野外ステージ  
申し込み 農村環境改善センターへ

郷土芸能への関心を高め、その振興を図る絶好の機会です。初心者から、ていねいに指導しますので、どうぞご参加ください。

対象 保育園児以上誰でも。

お申し込みください

(仮題)

## 町のあゆみ

## 広報縮刷版



■昭和30年合併当初の第1号から平成元年7月・372号までを全2冊に。定価 2,100円

■発行予定日 平成元年8月10日

■申込期間 7月1日～20日

■申込先 役場総務課 (☎0186-78-2100)

町の歴史や、人々のくらしの移り変わりを写す貴重な資料になるものと思います。ぜひ家庭に1冊。町出身の方々にも紹介ください。

# 木々とともに育て未来へ

## 合川中学校 植樹一関の沢公園で

木々の  
成長とともに

一年 杉 渕 導

とても暑かったけれど、い  
い天気めぐまれてたいへん  
よかった。行くまで少しつか  
れたけど、みんな自分のうけ  
もったツツジを穴ほりから水  
かけまできちんとおこなって  
いた。ツツジに負けないよう、  
自分たちも成長していきたい  
ものです。



暑さも忘れて

がんばつたぞ

二年 佐藤 マリ子

私達は自転車で公園へ行っ  
た。この日は本当に暑かった  
けれど、作業の時はそんな暑  
さはいつの間にか忘れていた。  
自分たちの手で大切に心をこ  
めて植えたツツジが、どんな  
ふうに花を咲かせてくれるか  
期待しよう。

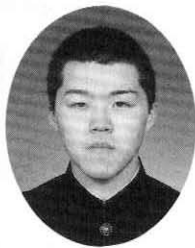


公園づくりに

みんなで参加

三年 高 橋 晃

「あじさい公園」に中学生全  
員参加で公園づくりの一環と  
して「ツツジ」を植樹してき  
ました。やがてこのツツジは、  
すくすく育ち、私達合中生の  
成長とともに、とても大きく  
美しい鮮やかな花が咲き揃う  
ことでしょう。



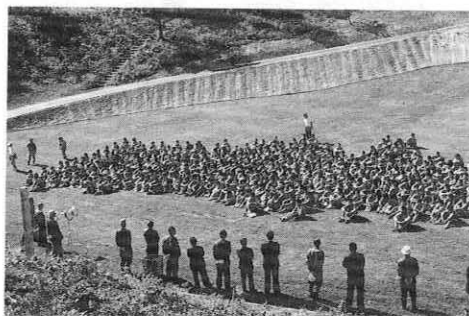
六月十二日、合川中学校の全校植樹が関の沢公園で  
行われました。

この植樹は「公園の植樹から、町づくりへの参加  
を」とのねらいで実施。同校では教育参考林（三里地  
内）への植樹など、計画的に植樹体験を組み入れてい  
ます。

を本  
ツツジ  
の  
500  
本の

畠山町長が「大人になってからの思い出の場所にな  
るように、今日の日を大切にしておいてほしい」と激励。「日  
本一のあじさい園を中心にした一大公園造りをめざす」  
とあいさつしました。

中学生たちは、手分けしてあじさい園に隣接する斜  
面に紅白の五百本のツツジを植え付け。移植べらで土  
を寄せ、熱心な、作業風景でした。



▶休憩施設の下の緑の芝生広  
場に全校生徒が集まり、打  
ち合わせ



◀植樹会場には、自転車でサ  
イクリング気分が楽しい汗



▲ていねいに植樹。一人ひとりの未来に思いをはせながら……

生徒の誘導、記念写真と大忙しの先生方ごくりう様でした。



▲植樹を終えて、新芽が伸びるあじさい園を散策。カメラにむかって「ヤッホー」



生徒会の役員の皆さんが、記念柱を建立▶

44年ぶりに

特集・戦時一大野台で

# 終戦の地 大野台に

## 旧海軍予科練習生の皆さんが来町

六月二十四日、四十四年ぶりに来町されたのは、「海軍甲種飛行予科練習生・土空十四期松浦会」の方々です。同会では、毎年のように「戦友会」を開いており、「いつか、大野台で」が数年前からの合言葉になっていたとのこと。

五十九人の会員のうち三十人が集い、また、この集いを聞いた別の班の方も参加。皆さんと、二日間を一緒に過ごさせていただき、あわせて、当時の思い出と資料から特集します。今、リゾート開発が構想されている大野台の歴史のページに、スポーツをあててみました。

大野台で行われていた特殊飛行訓練とは……。

### 命を捨てる体当りグライダー隊

海、空ともにアメリカ軍の攻勢が、日増しに強まっていた昭和二十年。「特攻隊」「人間魚雷」など、国民総動員の精神力で克服しようとの作戦から、大野台に「グライダー特攻」の訓練基地が設けられた。

数メートルのゴムを引っ張り、それを引き離して小さなグライダーを飛ばす。グライダーの先端には、爆弾に見立てた砂袋を取り付けて、舞い上り、敵艦に体当りする訓練が続けられた。エンジンは無く、飛び立つと帰ることはできない。訓練は苦しかったようで、「この二、三日は真赤な血尿になってきた」（金成雅史氏）などと記されている。

訓練生は志願して海軍土浦航空隊（茨城県）にいた十六、七歳の少年たち。すでに土浦基地は爆撃にさらされ、友の死を目の当たりにしてきた。少年たちは純真に大野台に汗と涙と血を流して、国のために命を捨てる覚悟で訓練を行い、この地で終戦を迎える。

訓練生は全国から集まり、その数は約千五百人とも、記されている。

上大野小学校を宿舎に訓練

### 約16機のグライダー

上杉・工藤

上大野小学校に海軍土浦航空隊派遣第一飛行隊空中

特攻隊長、海軍少佐・渡辺孝二郎氏以下、九百三十名宿泊し、大野台（現、弥栄・金耕一氏付近）で、グライダー約十六機にて訓練する。（昭和二十年六月十九日から八月二十七日日まで）

太平寺の畑に将校集会所を建て、国防婦人会が当番

を定めて、食事を応援した。小学校を予科練習の宿舎に提供し、小学校の授業は、神社等に分散して行う。

同年八月十五日、終戦となるも、沖縄県出身者約九名は



東さん（故人）

故国を失い、森吉町、大館市、比内町、田代町に分散して、職を求めた。

（工藤東さんから、このメモをいただき、後日、取材を予定していましたが、この六月にお亡くなりになりました。謹んでごめい福をお祈り申し上げます）

#### 第一章

あの夏の  
思い出一町の人々から

## 親元への連絡も絶たれて

## 死にものぐるいの訓練

上杉・関

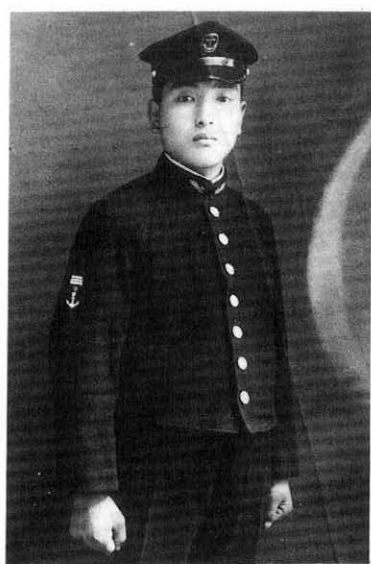
源 吉さん

私は当時、上大野村の兵士係でした。ゴムひもでグ

ライダーを飛ばす訓練の様子を、時々、見せてもらいました。棒たおし競技など格闘訓練も見せてもらいましたが、実戦さながらの死にものぐるいの戦いぶりは、とてもすさまじいものでした。

一部の訓練生は、一定の訓練を終えて、飛び立つ日が近かったと聞いています。

軍の人たちは、郵便が禁止され、大館あたりまでの郵便物は調べられました。訓練生たちは、日曜日に、一般農家



「若い血潮の予科練の 七つ釘（ぼたん）」は桜に鑑。と唄われた当時の軍服姿の木村 四郎さんの消息を関さんがたずねている

れると「何とかしてあげたい」という気持ちには、みんな持っていました。

ある日、北海道から「息子

姿だけでも見たい」と役場を訪ねて来た人がいました。どのようなにして連絡したか、とにかく、公然と会うことはできません。

私たちは役場の一室の窓から、訓練生が帰って来るのを待たせ、数百人の中から、子どもを見付けてくれるように祈っていました。

## 子どもたち七、八十人で

## ゴムひもを肩にかついで引張って

上杉・関 喜英 二さん

小学四年生の時に松根油を採る根っこ掘りに動員されました。今の合川駅前に松根油を作る工場があって、大きな釜で煮たてて、油をとっていました。

飛行訓練場では、ゴムひもを七、八十人の子どもたちで肩にかついで引張って、グライダーを飛ばす手伝いをし

偶然にも、子どもの姿が親の目に入り、子どもの方も両親の姿に気付いてくれました。数分間、隠れて小使い室で話しかけ、たいへん喜ばれました。

戦後、森吉警察署に呼ばれて、兵事に関する書類の全てを署の前で焼きました。

グライダーは格納庫に入れて、下杉の桜井さんという人を番人にして、厳重に保管していました。ある日、桜井さんが、たいへん興奮した様子で、駆けて来ました。話が良

くわからず、取りあえず訓練場に行ってみると、格納庫ごと、グライダーは跡かたもなく焼かれていました。

当時いた小松巡査によると、進駐軍がジープでやって来て、風上にガソリンのドラム缶を置き、そのドラム缶にピストルを発射すると、たちまち燃え広がったとのことでした。

グライダーに付いていたワイヤーや、縫い糸は、貴重品でしたから、とても惜しいことをしたと話合ったものです。



生をよく見かけました。

小学校は三年生の時に接收され、私たちは、神社などで授業を受けました。訓練隊員の皆さんは、子どもには、とても親切でした。

## 終

戦の放送は、小学校校庭に整列した隊員の皆さんと聴きました。台上に秋田犬を連れた隊長が立ち、涙を

(前ページから続く) ↓

## 特集

### 戦時大野台で

流していました。心にジーンと来るものがあつたのを忘れられません。村の子どもたちは十人ぐらいたと思います。私は小学校五年生でした。

終戦とともに教官たちは、ほとんど姿を隠しました。いじめられた訓練生のしかえしがあるという話が聞かれました。大野台で、アメリカ軍と

の戦争が起きるのではないかと心配する人もいました。情報途絶え、指揮する人がいなくなりましたから、いろいろなデマが流れ、不安でした。ほとんどの訓練生は頼る人も無く、交流があつた一般農家に入つてどうしたらいいか相談しました。交通手段を確かめるまで、数カ月か

る人も多く、帰る場所を失つた人もいたようです。防毒面など、訓練に使つた物は焼却され、その煙が何日も続きました。おすたんぶと呼ばれた大きなバケツが学校に残され、それはかなり後まで使われていました。

終戦後のある日進駐軍がやってきて、子どもたちが大野台の三角点を探すように命じました。見付けた者は、ジープに乗せてやると言うのです。みんな競って探し、運良く私が見付けることができました。ほうびにジープに乗せてもらったことも、忘れられない出来事です。

### 訓練地は今の牧場の裏の一带

### 終戦、ツツチュウラはどこかと進駐軍

弥栄 金 耕 一さん  
金 拓 二さん

私たちは当時、本城(森吉町)に住んでいました。

父(金為助氏)が大野台のグライダー訓練を子供たちに見せると言うので、疎開学童や近所の人たちと弟(拓二さん)がいっしょに行きました。下杉から、堤のわきを通って、子科練生の皆さんといっしょに、訓練地に向かいました。大きな飯盒(はんごう)をいっぱい肩にかついでいきました。

栓(せん)の木の木が松林をすぎたところにあつ



「この近くに、栓の木の根っこがあつたはず」と金耕一さん(右)と金拓二さん(左)

練地が広がっていました。訓練場に着くと、「今日昼に大切な放送があるので、訓練は行わない」とのことでした。ちょうどその日が、終戦の日であつたわけです。

終戦後、数日してから私の家に突然、進駐軍がやってきました。韓国人らしい通

訳が「ツツチュウラ?、ツツチュウラ?」と尋ねました。「土浦の練習地はどこか?」という意味でした。米内沢にあると聞いて来たようです。場所がわからなく、組合(農協)の事務所から、兵士がどこかに電話をかけ、英語で話し込んでいました。

偶然、昭和二十六年にこの地に入植することになりました。今の牧場の端のあたりに訓練場で、弥栄部落の上や、工業団地のあたりを飛んだようです。

栓の木は、昭和三十年すぎまであって、根の近くにほら(穴)があつて、黒く焼けこげていました。格納庫を焼いた時、火が移つたのだと聞いています。

当時をしのぶものは、訓練生たちが歩いた路の一部と、川井の馬放し場の長い土手の一部ぐらいでしょうか。

ところどころに「たこつば」があります。これは、グライダー訓練とは別に、大野台では陸軍の大規模な演習が行われ、その時に使われたもののようです。当時、私の家に遊びに来ていた鹿児島県川原道義さんとは、今も文通しています。



## 第二章

訓練隊員の  
記録から

当時土浦航空隊教  
育主任・海軍少佐

## 渡辺孝次郎

その時私は、約千五百人ばかりの教官練習生とともに、「グライダー特攻」の訓練をするために、敵の爆撃をさけ

て、秋田県の山村の荒野に、練習基地を設置して、訓練中であつた。

特設飛行場の整備も終り、飛行訓練も着々と進み、あるいは、敵の本土上陸に間に合うかなと思われていた時であつた。

あの八月十五日の「歴史的なニュース」が入ったのは。

当時、つぎつぎと来る悲報に「海軍総特攻」の気持は、隊員全部の胸の中に抱かれていた。それが現実となつて「グライダー特攻」やあるいは飛行機とは全く縁のない「特殊潜航艇」や、「人間魚

雷」などの特攻隊としての訓練をうけるため、教官も練習生も、その大半を各訓練所に分散させられていたのである。

私は、その「ニュース」の真実を確かめるとただちに飛行訓練をやめ、宿舎前に全員集合を命じた。戦死者の英霊に黙とうをささげた後、終戦の事実を告げた。

そして、あくまでも自重するように要望した。

くちびるをかみしめてうなだれている顔。死の黒い影から介抱されて、ホッとしているような顔、私はすべて、もつともだと思つた。折しも一月遅れのお盆の日、山村の人々は、手に手に花を持って本部の近くの寺へと歩いていった。

(後略・金為助編 郷土の記録「冠り岩」より)

当時海軍航空隊  
練習生

## 横山末雄

昭和二十年春百里ヶ原航空隊にて作業中のある日、突然、総員整列がかかり「これより特攻隊を編成する。志願する者は一步前へ」と号令がかかりました。何のちゅうちよも

なく全員が一步前へ踏み出しました。

土浦航空隊に参集した六月十日、十一日B29と艦載機ともどもの波状攻撃が続き、隊内は足の踏み場もないほどの爆弾の跡となりました。また、不発弾も相当なものであったようです。初期防火班として隊内に残った人の多くは戦死しました。仲間を失った事は誠に残念な事で、その上に、練習基地を失った特攻隊員は、その後、秋田県米内沢の大野という山村の学校に移ることを余儀なくされました。そして草原を切り開き、飛行場らしきものを造り、訓練が始まりました。世に実現しなかった空中特攻隊です。

(横山食品二十年・社誌より)

当時海軍航空隊  
練習生

## 能城茂

昭和六十年七月三十一日。往時の仲間たちの様子を知ら、みんな元気で活躍しているな、俺も頑張らねば、と励まされます。

夏が来ると秋田基地の想い出が次々とよみがえってきます。炎天下の訓練、小学校裏の冷たい水路で洗濯した楽しさや、校庭で軍艦旗を焼却した寂しさなど、半世紀を生きてきた今、想い起し、俺等もよくぞやったものだと思つてく感じることがあります。

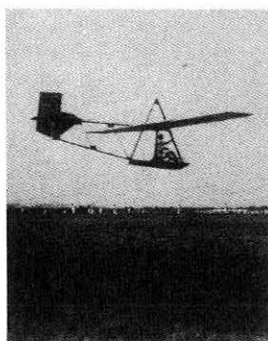
教職の場にあつて生徒指導だの、非行防止だのと心を悩ましているが、この若者達は、一帯どんな夢を抱いているのか、不安でならない時があります。(練習生会報より)

(著者氏名等の敬称は略させていただきました。横山氏、能城氏は今回来町されました。)



練習跡地にあつた根元の焼けこげた栓の大木。

(昭和三十一年ごろ)



大野台と同じ型の訓練機

# 昭和二十年上大野小学校(学校沿革史より) (ごく一部を抜す)

|        |                                              |
|--------|----------------------------------------------|
| 四月 四日  | 高男・松根油工場整備作業動員                               |
| 四月 五日  | 久安知事大野岱県営開墾地視察、職員児童出迎                        |
| 四月 六日  | 道城・上杉部落苗代消雪作業 初五年以上動員                        |
| 四月 八日  | 大詔奉載日につき必勝祈願。道路清掃遺族奉仕作業をなす                   |
| 四月 十一日 | 防空訓練実施                                       |
| 四月 十四日 | 薬工品納入 實子縄七〇一八把 太縄一〇三把 手縄二束 鹿角増産隊五月三日までの予定で宿泊 |
| 四月二十三日 | 高二苗代打起し作業実施                                  |
| 四月二十五日 | 川井部落用沼堤決潰修理のため高男動員                           |
| 四月二十七日 | 算数読方一斉考查                                     |
| 四月 三十日 | 第一必勝農場耕起作業実施                                 |
| 五月 一日  | 永井訓導横沢滑空道城入城式に児童引率                           |
| 五月 四日  | 防空壕道路構築作業                                    |
| 五月 十日  | 第四班長高橋六治郎決戦教育考察のため来校                         |
| 五月 十六日 | 小林太郎君の遺骨出迎え、防空訓練実施                           |
| 五月 十七日 | 初五以上山菜採取動員                                   |
| 五月二十四日 | 大野岱増産隊の馬鈴薯植付                                 |
| 六月 五日  | 前月同様初四以下山菜採取、小五以上田打奉仕                        |
| 六月 十五日 | 本日より全校農繁休業 学校及川井託児所開設女教員動員                   |
| 六月 十七日 | 神饌田田植え式                                      |
| 六月 十八日 | 陸軍兵長佐藤豊治英霊出迎え 足田勇治入営見送り                      |

## 第三章

再びこの地で  
(手紙とスナップ)

四十四年ぶりの大野台では、当時のことを思い出す多くの会話がありました。その一つが感動的で、残念ながらこの紙面では語り尽くせません。  
一通の手紙と訪れられた皆さんのスナップで、その様子をお知らせします。

それから様方でお世話になり、起居を共にしておりました。

突然の失礼な便り御赦下さい。かつて戦争末期昭和二十年、御地大野台で軍事訓練を受けておりました、元海軍飛行予科練習生・丸山寅春と申します。

当時班長以下、練習生は、皆、小学校の屋内運動場で起居致しておりましたが、隊長は御遵家を士官宿舎に指定され、私こと旧姓丸山と窪木両練習生が隊長係として、そちら

(中略)

余命幾何もなかった筈の当時、その懐かしい思い出の地・上大野で今回(六月二十四日)戦友会が開催されることとなりました。北は北海道、南は九州から数々苦楽を共にした思い出を胸に、大野台に集う筈でございます。

場所は「大野台ハイランド」とか、子供のように今から指折り数えて待つております。其の接、再会の時間をもちたいものと思っております。積る話はその節に、取り敢えず御無音のお詫び旁々ご一報まで。

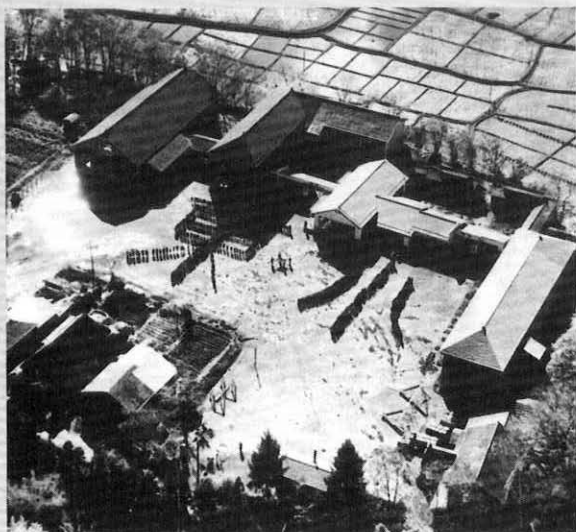
六月十九日  
新潟県大和町 関 寅春

引用著書等は許可を得て、その部分に書名等を記しています。

記憶をもとにした、お話から編集した部分もあり、訂正や資料などがありましたら役場総務課(☎〇一八六―七八―二一〇〇)にお知らせください。



六月 十九日 土浦海軍航空隊員二百名来校宿泊す  
 六月二十二日 青少年団解散 学徒隊結成  
 六月二十七日 土浦海軍航空予科練習生約七百名来校計九  
 百名  
 七月 九日 海軍航空隊慰問演芸会開催  
 七月 十四日 警戒警報発令全児童家庭待避  
 八月 十五日 正午米英に対し無条件降服に関する詔書放  
 送聴取  
 八月 十六日 全児童に対し学校長重大訓辞を行う  
 八月二十八日 予科練習生全員退校す  
 一月 十日 御影奉還式挙行 進駐軍二名来校軍事色払  
 拭状況視察  
 二月 五日 鎌田訓導来校軍事色払拭状況視察  
 三月 二日 国史、地理、修身教科書 蒐集発送  
 三月 三日 上大野婦人会結成式挙行



昭和32年頃の合川東小学校（上大野小学校）。建物は  
 ほぼ戦時の状態



▶共に死を覚悟した仲間たち。合川東小学校前で  
 町長が案内



▶「ここがみんなで体を流った  
 小川」と合川東小学校裏で



▶太平寺前で、なぐられてつら  
 かった思い出を今は笑顔で――。



▶訓練地跡を見つめ、感慨深い様子。  
 （弥栄・安部寿さん宅前で）



▶お世話になった家を見付け、  
 思わず訪問（桜井悦朗さん宅で）

## 戦傷病者・戦没者 遺族の皆さんへ

援護法のお知らせ

次の二つの条件を満たしている方は戦傷病者・戦没者遺族等援護法による障害年金、遺族年金を請求できます。

①戦時中、軍属または準軍属の身分にあった方 ②公務または勤務に関連して障害にかかり、そのため障害の残った方や、死亡された方のご遺族。

まだ請求していない方は、役場福祉課にご相談ください。

## 所得税一期分の 納期は今月末

所得税は、税額が前年十五万円以上の人の第一期納期が七月三十一日です。第二期が十一月末日。翌年の確定申告で、一年分を精算する仕組みになっています。お忘れなく。

農業技術  
電話アドバイス

☎62-0029

七月一日～十四日 健康と食事づくり  
八日～十四日 葉

いもち病防除 十五日～二十一日 穂肥について 二十三日～二十八日 いもち病・紋枯病の防除 二十九日～八月四日 出穂期の水管理

## 危険物取扱者 試験

受付期間 七月三日～十二日  
受付場所 秋田市中通四―三  
―二三 県消防会館消防試験  
研究センター 問い合わせ先  
〓広域消防合川分署（電話七八―二一九）

## 交通安全 作品募集

内容〓標語・作文・ポスター（図画）、アイデア作品  
募集範囲〓小・中・高校生及び一般。ただし、作文は小・中・高校生のみ。  
締切〓九月五日 問い合わせ先〓役場総務課（☎七八―二一〇〇）または各小中高校

## 地籍調査の 地図など

閲覧ください

昭和六十三年度の地籍調査

## 県職員採用試験

| 試験             | 申込受付               | 試験案内                 |
|----------------|--------------------|----------------------|
| 初級・中級          | 9月7日<br>～<br>9月26日 | 秋田県人事委員会及び<br>北秋田地方部 |
| 婦人補導官<br>交通巡視員 | 9月7日<br>～<br>9月26日 | 県警察本部警務課及び           |
| 警察官            | 7月1日<br>～<br>8月31日 | 各警察署                 |

の地図と簿冊の閲覧が行われます。  
七月十二日 雪田公民館  
七月十三日 杉山田集会施設  
七月十四日 三木田公民館  
七月二十二日まで役場で。

水辺にやすらぎ こころにゆとり

## 河川愛護月間

7月1日～7月31日

河川シンポジウム 7月22日(土)  
町農村環境改善センターで

## ご協力ください

7月1日事業所統計・  
サービス等統計

家内工場・独立した事業主・理・美容室などよろしくご協力ください。

調査の秘密は厳しく守られ、税金などに利用されることは絶対にありません。



## ふるやの皆さんへ

大内沢出身・成田喜代治

新緑のさわやかな季節となりました。ふる里のみな様御元氣のことと思っております。〓ふる里合川〓のビデオテープの件ですが、長い間借用いたしまして誠にありがとうございます。

十五年程前より大内沢出身者集いの会を毎年家族同伴で、上野公園の桜の木の花の下でおこなっております。〓ナカナカ タノシイ一日をと思っております〓

今秋は山梨県に〓ぶどう刈り〓を計画中です。

来春は花見を行いたいのので皆さんも、おいで下さい。

（千葉県野田市山崎九五二―二八）

なつかしき人、山、川いろいろ思い浮べております。テープは東京を中心に近県は、もちろん滋賀県まで約二十世帯を渡り、この度もどって来ました。

## 公共工事業者 審査の説明会

建設業法が昨年六月改正され、公共工事発注のための審査実施方法が変わりました。

今年、その審査を希望する方の説明会が次のとおり行われます。同時に平成二年度秋田県建設工事入札参加資格申請の説明会と申請受付けも行われます。

日時 七月二十五日（火）午後一時から  
場所 鷹巣阿仁広域交流センター

## 県庁の電話番号 が変わります

七月一日午前零時から、県庁内のほとんどの電話番号が変わりました。新番号をお確かめの上、おかけください。

## 第二回合川町学童 マラソン大会

日時 八月五日（土）午後一時三十分受付三時スタート

コース 町民体育館と駅前を往復二・五\*

対象 小四～小六・男女  
申込 七月十日まで町民体育館へ

## 明るい選挙 ポスター募集

対象 小・中・高校生  
締切 九月十一日  
提出・問い合わせ先 役場内町選挙管理委員会

## 宅地建物取引 主任者試験

試験 十月十五日 場所 秋田工業高校 申込 七月三十一日～八月四日 問い合わせ 申込先 秋田市川尻大川町一〇三三（社）秋田県宅地建物取引業協会（☎〇一八八―六五―一六七）

## 盗難多発 オートバイ

昭和六十三年度中、県内では二百二十八件のオートバイ盗難事故が発生しており、ほとんどが少年の犯罪です。

原付バイクは、ワイヤー錠などで二重ロック。夜間は、すつかり格納しましょう。

## 狙われている消費者

「靈感商法」「催眠商法」で高く売りつける

### ▽苦情相談

「ただで占ってやる。祈とうした印鑑を持っていれば運が开ける」などと持ち掛けられ、一セット二十万～三十万円の高価な印鑑を契約してしまつた。契約解除したいが、どうすればよいか。

### ▽町の相談窓口

町内の主婦から数件の苦情相談が寄せられ、解決の方向で対処しております。

最近県内には、悪質業者が多く入ってきており、手口は巧妙悪質化していますので、消費者の皆さんは、被害にあわないよう十分注意してください。悪質商法について、家族や、集会などで話し合うことも被害を未然に防ぐ方法です。

相談窓口 合川町商工観光課（☎七八―二一五）

## 気付いたら 誰でも 声をかけて

子どもたちの校外でのくらしぶりや、夏休みの生活などで、気が付いたことは、家族、学校にお知らせください。

合川中学校 ☎78-2135

西小学校 ☎78-2107

北小学校 ☎78-2128

東小学校 ☎78-2105

南小学校 ☎78-2126

合川高校 ☎78-3177



7月 は青少年を守る強調月間です

## 国民年金

## どうしてまっしぐらに

国民年金の加入が遅れたら、納め忘れがあり、満額の年金になりません。

このような人のため高齢任意加入制度があります。

例えば、過去に三年間未納がある人は六十歳から三年間、高齢者任意加入すれば年金額を満額にできます。未納のため無年金者になつ

てしまった人も、五年以内の不足期間であれば、この制度で年金が受けられるようになります。役場福祉課（年金係）でおたずねください。



# 7月こよみ

平成元年5月末日 住民登録人口調べ

人口男 4,328人(△7) 転入 14人  
女 4,760人(△1) 転出 21人  
計 9,088人(△8) 世帯数 2,297(+2)

|                                             |            |                      |
|---------------------------------------------|------------|----------------------|
| 1 土 県体フェンシング大会(〜3日)                         | 11 火       | 21 金                 |
| 2 日 若草交流会 午後0.30 改善センター<br>駅前移動町民室 午後7時 公民館 | 12 水       | 22 土 河川シンポジウム 改善センター |
| 3 月 県北招待ゲートボール大会                            | 13 木       | 23 日 参議院選挙投票日        |
| 4 火                                         | 14 金       | 24 月 部落代表者会議         |
| 5 水 参議院選挙公示日                                | 15 土       | 25 火                 |
| 6 木 ことぶき大学(花壇作り)<br>改善センター                  | 16 日       | 26 水 小中学校夏休み         |
| 7 金                                         | 17 月       | 27 木                 |
| 8 土 第4回日本太鼓秋田県講習<br>会 (ハイランド) (〜9日)         | 18 火 福祉運動会 | 28 金                 |
| 9 日                                         | 19 水       | 29 土                 |
| 10 月                                        | 20 木       | 30 日 町民体育祭           |
| 今月の納期 国民健康保険税7月期                            | 国民年金 7月期   | 31 月                 |

## 慶弔だより

(5月届)

〔お誕生おめでとうございます〕

成田 和平 李 岱 耕 造 長男  
佐藤 洋成 木戸石 昭 洋 長男  
土濃塚 絢 芹 沢 仁 三女  
土濃塚 舞 芹 沢 仁 四女  
佐藤夕希子 木戸石 弘 美 長女  
小笠原千夏 川 井 吉 則 二女  
柴田 雄太 八幡岱 伸 一 長男

〔謹んでおくやみ申し上げます〕

藤嶋 トヨ 木戸石 照 明 祖母  
桜井 良蔵 下 杉 本 人  
新田 信三 新田目 本 人  
吉田久三郎 川 井 本 人  
桜庭チヤ子 芹 沢 祐 吉 母  
工藤 チヤ 上 杉 健一郎 妻  
渋谷 忠義 金 沢 本 人  
松岡 ワキ 弥 栄 哲 夫 母

## 善意のご寄付

(敬称略)

伊藤 昭彦 杉山田(故父 定之助)  
桜井 孝良 下杉(故父 良蔵)  
松岡 哲夫 弥栄(故母 ワキ)  
吉田久左エ門 川井(故父 久三郎)  
工藤健一郎 上杉(故妻 チヤ)  
藤嶋 照明 木戸石(故祖母 トヨ)  
新田 勉 新田目(故父 信三)  
桜庭 祐吉 芹沢(故母 チヤ子)  
藤岡三左エ門 羽立(故父 米蔵)  
柴田 松雄 八幡岱(故祖母 ツヨ)  
工藤 アイ 上杉(故夫 東)

〔広報郵送料として〕

菅原正子 神奈川県秦野市北矢名  
297-2

高橋喜一郎 千葉県柏市みどり台1  
-6-3

〔訂正〕広報前号・この欄の、松井  
運作氏(福岡)は(福田)の誤りで  
した。訂正し、おわび申し上げます。

## チビっ子美術館



おふね

まつおか あみちゃん

(にしほいくえん)  
さくらぐみ



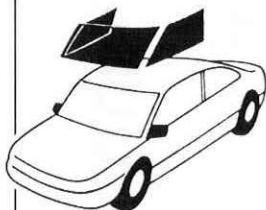
## 情 報

町内交通事故  
飲酒運転違反

6月15日まで。事故は人身  
事故発生地別。飲酒運転は  
違反者住所別で5月1件。

| 阿仁部交通安<br>全協会<br>合川支部 | 事故 | 飲酒<br>運転 | 計  |
|-----------------------|----|----------|----|
| 東 部 会                 | 3  | 6        | 9  |
| 西 部 会                 |    | 1        | 1  |
| 南 部 会                 |    | 1        | 1  |
| 北 部 会                 | 1  | 1        | 2  |
| 計                     | 4  | 9        | 13 |

## 車を凶器にしないでください。



着色フィルムの規制が拡大されました。  
ステッカー等のはり付けも規制がありま  
す。すでにはり付けている人は、修理店  
などで相談ください。